

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2374500607
事業所名	グループホームはるすのお家 尾張旭

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目：2)	評価
	町内会に加入し、学童のスクールガードにも協力している。自分が気になるゴミ拾いを積極的に行う入居者があり、職員も後をつけサポートしている。運営推進会議に民生委員の参加を要請したが、多忙のため断られ結局参加してもらえなかった。ほぼ毎日入居者とともに、地域のスーパーへ食事の買い出しに出かけている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目：3)	評価
	家族・地域包括職員・市職員・管理者・職員をメンバーとし、隔月に開催されている。年末に忘年会を兼ねて開催した時には、入居者も参加し、20名を超える参加があり、楽しい写真が掲示されていた。『離脱事故』をきっかけに、地域での『認知症サポーター養成講座』開設の提案など事故防止・認知症啓蒙活動のための活発な議論が展開されている。	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目：4)	評価
	管理者・一部職員は『認知症サポーター養成講座』に参画し活躍中である。管理者は市役所・郵便局などでの認知症対応を想定した劇の脚本を同講座のために書き、演出・上演し、日常的に認知症啓蒙活動に取り組んでいる。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目：6)	評価
	家族向けのホーム便りは隔月に発行されている。家族はみな週に一度くらいは訪問があり、家族は要望にレベルによって、伝える相手を選んでくれる。管理者は「家族の要望は、表面上だけでなく、その裏にどんな思いがあるのかをくみ取ってね」と職員に語りかけている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	○	○	○	○	○	○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況 (外部評価) が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取組みがなされ、その事実が確認 (記録、写真等) できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
	(例示) ① 家族会を定期的 (年2回以上) に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的 (年2回以上) に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。